

# 1画目がわかることで、2画目以降の画数を意識して平仮名を書くことのできるなぞり書き枠



【なぞり書き枠】

## ＜その子の日常の様子から＞

- ・ 型はめやパズルを好む。
- ・ 始点に赤色の印があると、そこにペンの先を置き、なぞり書きをすることができる。
- ・ 「1, 2, …。」と数唱することができる。
- ・ 1画ずつ型を外してから書くことで、2画目以降の画数を意識して書くことができるように考えた。

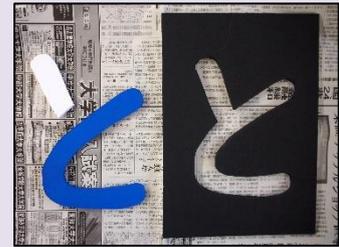
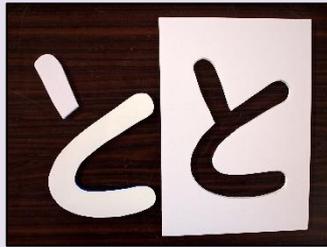
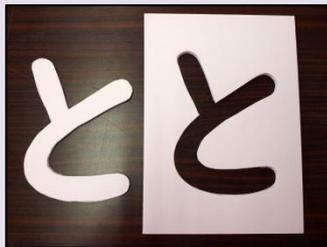
材料：スチレンボード（A4）  
なぞり書きのプリント（A4）  
絵の具 赤色のシール

## ＜作成のポイント＞

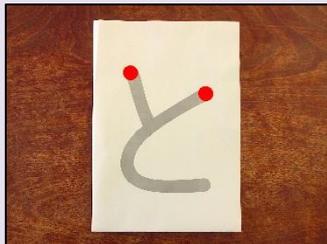
- ・ 取り外しができるように、1画ずつ切り分けた。

## ＜作り方＞

- ① スチレンボードを文字の形に切り抜く。
- ② 切り抜いた文字を1画ずつ切り分ける。
- ③ 切り抜いた文字と枠にそれぞれ異なる色の絵の具で着色する。



- ④ なぞり書きのプリントの文字の始点に、赤色のシールを貼り、なぞり書き枠を置く。



## 使用手順

- ① なぞり書きのプリントの上に、枠を置き、文字の2画目以降のパーツをはめる。
- ② 1画目の始点に貼られたシールにペンを置いてから、書き始める。
- ③ 色分けされた2画目の型を枠から取り外す。
- ④ 2画目以降も同様に書く。